

平成25年度第4回北杜市図書館協議会会議録

- (1) 会議名：平成25年度第4回北杜市図書館協議会
- (2) 開催日時：平成26年2月25日（火）午後1時30分～午後3時15分
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者：協議委員 柴山 裕子／小澤 一／下條 順子／竹田 和美／須田 由美子
平出 香織／坂本 妙子／齊木 久壽
事務局 教育次長・小林図書館長／篠原 美恵・長谷川 誠
小野 まどか（総務担当）／浅川 さつき（明野図書館）
鈴木 真由美（すたま森の図書館）／鈴木 規（たかね図書館）
高野 裕子（金田一春彦記念図書館）／進藤 由美子（小淵沢図書館）／齊木 紀恵子（ライブラリーはくしゅう）
小池 法子（むかわ図書館）
- (5) 議題：
 - (1) 図書館の開館日と開館時間について
 - (2) 生涯学習センターこぶちさわ耐震工事に伴う図書館閉館時の対応について
 - (3) 第二次北杜市子ども読書活動推進計画の実施状況について
 - (4) 平成26年度予算及び事業計画（案）について
 - (5) 各図書館からの近況報告について
 - (6) その他
- (6) 公開・非公開の別：公開
- (7) 該当なし
- (8) 傍聴人の数：1人
- (9) 審議内容
 - 1) 図書館の開館日と開館時間について
 - *事務局より開館日・開館時間の変更案について報告
 - ・開館日の変更案について、金田一図書館に週1回の休館日と年末年始の休館日を設けたい。
 - ・開館時間の変更案について、ながさか図書館・金田一図書館を除く6館は、開館時間をすべて午前10時～午後6時までとしたい。
 - ・子どもの居場所の確保や複合施設との関わりの中で、夏季時間を設定し、開館時間を繰り上げて開館したい。
ただし、明野図書館・むかわ図書館は、職員体制の関係から、通常と同様の開館時間とする。

- ・変更案の開館日、開館時間を実施することで、約150万円の経費削減となる。
- 次 長：金田一図書館を月曜休館にした場合、中央館としての役割が果たせるのか、また、学校からも、貸出を行わなくてもよいので開館しておいてほしいとの要望もあるので、それらも含め図書館として検討していく必要がある。来年度早い時期に決定し、周知していくべきである。
- 委 員：規模が大きい図書館の月曜休館が多いので、休館日を検討する必要がある。
- 委 員：今まで休館日を設けていなかった金田一図書館に休館日を設ける意味は。
- 事務局：県内の公共図書館の状況を踏まえ、予算削減を図る中で、土日の利用者数は多いことから、月曜休館をいう案を提案させてもらった。
- 次 長：8つの図書館を存続させるためには、維持管理も考えると休館日等を検討していかななくてはならないが、どこかが開館しているのが北杜市図書館の特徴なので、月曜休館にこだわらなくてもよいのではないかと。
- 委 員：4月より総合会館や改善センター等が、月曜休館に統一されるということで、利用者としてはどこかが空いてくれるとよいという感覚がある。図書館も同様で、エリアを考慮して休館日が設けてもらえるとよいが、メール便等を考慮すると月曜休館でも仕方ないのかもしれない。北杜市としてどこかが空いているとよいと思う。
- 適正配置検討委員会で8図書館の存続が大切だということが確認されたので、8館を存続させるためにはどこかで経費を削減しなくてはならず、そのために金田一図書館も休館日を設けざるを得ないのだと思う。
- 委 員：金田一図書館は月曜は開館しているというイメージがあるので、休館日を設けるのはよいが、違う曜日でもよいのではないかと。
- 次 長：休館日をエリアごとに考えることも選択肢の1つである。
- 委 員：すべての地域の状況をくむのは大変なので、市の防災マップのように、図書館の利用条件等を紹介した資料を各家庭に配布して図書館について知ってもらうのもよいのではないかと。
- 委 員：金田一図書館は、休館日もなく、蔵書も多いということで、中央館として大きな役割を果たしてきた。中央館の役割はどんなことを考えているのか。
- 事務局：平成26年度から金田一春彦先生のご子息の金田一真澄先生を名誉館長に迎え、講座等を開催し、図書館に足を運んでもらえるような企画を考えている。他の7館にも出向いてもらうことも検討していて、中央館に名誉館長を置くことで、中央館としての役割を果たしていきたい。
- 次 長：金田一図書館以外は複合施設のため、併設施設との関係も踏まえて、8月頃に方向性を出す。
- 委 員：8図書館一斉に休館してもいいと思うが、エリアで考えることも1案。
- 委 員：司書の異動はあるのか。

事務局：異動はある。

委員：休館日をエリアで考えるのも1つの案。金田一図書館の役割もわかるので今後検討していけばよい。

委員：市内で必ずどこかの図書館が開館していることがありがたく、図書館としての役割を果たせると思う。

夏季の開館については、しっかり周知し市民に上手に利用してもらわないともったいない。

委員：休館日・開館時間については、今後引き続き検討していく。

2) 生涯学習センターこぶちさわ耐震工事に伴う図書館閉館時の対応について

＊事務局より資料についての説明

- ・工期は7月1日からだが、準備期間として6月1日から図書館を休館とする。
- ・工期が延びる可能性もあるため、その場合は広報等にて休館日を周知する。
- ・休館中でも、図書館外で実施できるおはなし会等は実施する。

委員：できれば貸出業務も行ってほしいが、予約本の貸出等を少しでも行ってもらえるのでよい。

予定外のことも出てくると思うが、センター長と連携をして、柔軟な対応ができるようにしてほしい。

休館についての小学校等への周知はどうなっているのか。

次長：生涯学習センターがすべてクローズになるので、その後の対応として、社会教育施設は小学校の体育館を貸し出したり、会議室は支所の部屋を貸し出すということを考えている。放課後の児童の居場所として、生涯学習センターのウエートが大きいので、なるべく体育館や学校の図書室等をこの期間開放していきたいということで、小淵沢小学校の校長先生と話をしている。

委員：安全面の管理ができる人を配置していくのか。

次長：どのような体制をとるか検討中である。

図書館に関しては、休館の期間、支所にて金田一春彦先生の資料整理を行っているので、何かあれば司書が対応できる体制である。

3) 第二次北杜市子ども読書活動推進計画の実施状況について

＊事務局より説明

平成25年2月に策定された北杜市子ども読書活動推進計画の内容について、この1年間の実施状況と今後の取り組みを報告するため、2月4日に子ども読書活動推進計画報告会を開催した。

この計画は、5ヵ年計画となっており、未実施のものについては、今後実施し

していく。

家庭における読書活動の推進においては、子どもの利用人数が16.1%で、そのうち中学生は1.9%、高校生1.4%と低く、今後どうやって利用を伸ばすかが課題。

地域においては、未利用団体への利用を促進していきたい。また図書館の活動においては図書館ボランティアの力が大きく、すでに色々な事業に携わってもらっている。青少年育成地区民会議でイベントを実施している地域もある。

市における読書活動の推進については、平成26年度より、ママパパ学級における図書館のPR等を実施する予定。

学校においては、すでに色々な取り組みを行っているが、サードブックについては、平成26年4月まで（平成25年度事業）実施し、平成26年度からは本の配布は行わず実施内容を見直していく。

また、図書館利用として、学校で実施している「町探検」に図書館を組み込んでもらえるように、学校と調整していきたい。

保育園については、「異年齢交流による読み聞かせ」が未実施となっており、学校との連携の中で検討していきたい。

市立図書館においては、利用率の低い中高生（ヤングアダルト）向けのイベント等を開催することで、ヤングアダルト世代の図書館利用を促していきたい。

子ども読書活動推進の啓発・普及・広報の推進について、やまね便りやHP、広報等で情報提供を行っているが、HPではイベント情報以外にも、おすすめ本等、様々な情報を提供していく。

子ども読書活動推進体制の確立については、県立子ども読書支援センターとの連携を図りながら、すでに図書館活動の大きな力となっているボランティア団体とさらに連携を図っていきたい。また、北杜市子ども読書活動推進委員会を平成26年度に設置をし、実施状況の報告等を行う。

委員：1－（2）について

地区民会議は身近なものなので、もっと利用していけばよい。どこかで連携して行っている地域があるか。

事務局：ながさか図書館では、夏休みに工作教室を開催している。

委員：団体利用は、幅広い年齢の本が借りられるので、広がりがある。老人会で利用しているが、紙芝居や童話等も借りられることができ、本が取り持つつながりもある。色々なきっかけで本と親しむことができると思う。

委員：大人が子どもに対して「読み聞かせ」を行うというのは、与えるという感じで、子どもは受身で、反応も少ない。「読み聞かせ」の活動はよいことだが朗読イベント等、子どもが受身ではなく自発的に動けるような読書活動があってもよいのではないか。

委員：『読む力は生きる力』という本の中に、読み聞かせとは何か、ということが書かれている。字が読める＝本が読めるということではない。本を読める＝生きる力、考える力になる。

実施状況等を表にすると、色々なことをしなくてはならないという感じを受けるが、いつも行っていることを一歩進めていきながら、子どもが本を読むことの楽しさを知ってもらう機会として読書活動を行っていけばよい。

委員：4. のHPの拡大について、おすすめ本等の情報を掲載してほしい。

図書館に足を運んでもらって本を探す、ということもよいので、そういったメッセージも掲載してほしい。

4) 平成26年度予算及び事業計画（案）について

*事務局より説明

賃金の削減については、勤務日数の見直しを実施したためである。

報酬費について、金田一真澄先生に金田一図書館の名誉館長に就任していただき、研修・旅費等込みで65万円をお願いした。

賃金について、金田一図書館の清掃員の雇用を見直すことで、50万円の削減、報償費は、年2回実施しているボランティア研修の講師を見直すことで、経費削減となっている。

図書館企画事業費について、報償費は平成25年度にむかわ図書館オープニングイベントとして40万円計上しているのので、その分の減額となっている。

需用費について、事業内容の見直しや現在の消耗品の在庫状況から約80万円の減額となっている。

負担金、補助金及び交付金の増額について、ことばの学校が平成24年度・平成25年度と国文祭事業となっていたため、補助金を生涯学習課で計上しており、平成26年度から図書館事業となったため、90万円の増額となっている。

次長：正規職員の人件費を含めると、約1億4千万円の予算である。

今年度まで図書購入費は宝くじ補助金をあてていたが、平成26年度から国の財政改革でこの補助金制度が廃止されたため、図書購入費は市の財源でまかなうことになった。

委員：今回のような大雪の除雪にかかる予算はどの項目か。

事務局：委託費である。

委員：図書館は複合施設だが、除雪は教育委員会で一本で行っているのか。

次長：除雪は各施設で対応しているが、今回の大雪は各施設の予算では対応できなかったのので、建設部に依頼した。市全体で2億円程度かかっている。

委員：備品購入費が30万円減少しているが、増税分も考えると、図書購入冊数

はどれくらい減るのか。

事務局：例年、8000～8500冊程度、図書を購入しているが、今年度と比較すると250冊ほど減少する。

次 長：消費税の影響は市にとっても大きい。

委 員：長坂の小学校が合併したが、学校の図書はどのように活用しているのか。

次 長：各学校に欲しい本を配布した。ほとんど有効的に活用している。

委 員：雑誌は減っているのか。

事務局：若干減っている。

委 員：高根には「窪田精」という素晴らしい作家がいる。

絶版になっている本もあるが、購入できる本は購入を検討し、コーナーを設置するか展示をするなどしてほしい。

委 員：リクエストすれば、購入の参考にしてくれるのではないか。

事務局：どれくらい図書館で所蔵しているか、どういったルートで購入できるかを検討するので、図書館に相談してほしい。

委 員：平成26年度はナクソスの配信はどうなったのか。

事務局：中止とした。

*事務局から平成26年度事業計画について説明

- ・小淵沢図書館は、6月から休館になるので、おはなし会等できる範囲で行う。
- ・金田一図書館の名誉館長に金田一真澄先生をお迎えするため、年4～5回ほどことばに関する講座を開催する。
- ・各館で特色のある資料収集をしているので、それに関連したイベントを実施する。すでに実施している図書館もあるが、市の関係部署と協力しながらイベントを実施していく。

5) 各図書館からの近況報告について

●全体

- ・大人のための朗読会「やまびこ」の12月は50回記念イベントとして実施。
※参加者は70名→197名に修正。
- ・朗読ボランティア研修は、大雪のため予定日に実施できなかったため、日程調整をして実施。
- ・3月16日には、お父さんの読み聞かせ隊「パパ's 絵本プロジェクト」を迎えて子ども図書館まつりを実施。

●明野図書館

- ・明野ファンクラブは予算面などで協力をしていただいて、明野図書館として特色のあるイベントを開催できている。

- ・ 2月12日の明野図書館ファンクラブの集いの参加者は7名。
- ・ 福袋は、初日から多くの人々が来館してくれた。
- すたま森の図書館
 - ・ 新春アリススペシャルおはなし会は、チラシの配布範囲を広げたため、参加者が昨年度より20名程度増えた。
 - ・ 蔵書点検は、不明本が少なかった。
 - ・ 閉架書庫の開放は、参加者が少なかったため、今後はもっとPRしていく。
- たかね図書館
 - ・ 八ヶ岳講座は、雨天のため中止となってしまった。
 - ・ 高根西小VTR撮影は3年目になるが、図書館司書がおすすめ本を紹介し、学校のお昼にVTRを流している。
 - ・ 高根北小の総合の時間授業、明野小施設見学は、大雪の影響で中止。
- ながさか図書館
 - ・ 北部教育センターと共催のイベントを多く実施した。
 - ・ 出張ブックトークでは、各図書館の職員にも協力してもらって実施した。
- 金田一春彦記念図書館
 - ・ 東部教育センターとの共催イベントで、手作りの年賀状を作成。
- 小淵沢図書館
 - ・ 牛山俊男さんの講演会は、北部教育センターとの共催で開催。
 - ・ 例年11月に実施しているミニコンサート&ブックリサイクルは、平成26度は休館中のため、3月くらいに予定。
 - ・ 小淵沢小学校の朝読は、来年度、保護者に依頼する予定だが、その前段階として図書館に依頼があった。
 - ・ 子育て支援ルームのおはなし会を実施し、図書館に足を向けてもらう努力をしている。少人数だが、図書館に足を運んでもらっている。
- ライブラリーはくしゅう
 - ・ ブックリサイクルは、今後、11月3日（文化の日）から実施する。
 - ・ 11月9日の「ちぎって貼って楽しいコラージュ！」は、講師が地域の方なので無償。
 - ・ 冬のおたのしみ会では、地域のハンドメイドの会による出店が4店あり、白州以外からの参加あり。
- むかわ図書館
 - ・ 甲斐駒センターせせらぎ内に図書館が移転し、土足でも入館できたり、利用方法が変わったこともあり、利用者が図書館に入りやすくなった。
 - ・ 白州町・武川町合同による学校・公共図書館連絡協議会を実施し、直接話してみても、学校と公共図書館との違いを知ることができ、勉強になった。学校のみなら

ず、センター等とも連携を図っていくことが大切だと思った。